

講演会 令和8年2月28日 土

〔入場無料〕

〔会場〕鶴見大学図書館地下1階ホール 〔開演〕11時（10時30分開場）

❖ 天海版『金七十論』解説.. 万波寿子（ドキュメンテーション学科講師）

興津香織 氏

日本大学文理学部准教授
著書『インド二元論哲学へのいざない』（菅元啓一氏との共著・花伝社）

「金七十論」

—江戸時代のインド哲学研究—

三苦所逼故
不定不極故
說此偈緣起昔古
自然四德一法二
身見此世間沉浮

貴重書展 令和8年2月21日 土～3月7日 土

第165回鶴見大学図書館貴重書展示

〔会場〕鶴見大学図書館1階エントランスホール

●開館時間は図書館ホームページをご覧ください。

「金七十論」と「勝宗十句義論」

我實戲樂在家之
復更來重說上言
在家之法說是道
千年祠天隱身也
在盲闇中徧觀那
千在

在家

之法說是道

○主な展示品 寛永一四年刊 天海版『金七十論』／元禄一〇年刊『金七十論』／明和六年刊 晓應撰『金七十論備考』

天海版『添品妙法蓮華經』／宝曆一〇年刊 虎喝撰『科註勝宗十句義論』／安永八年刊 基辨撰『勝宗十句義論釈』
寛政八年刊 快道撰『勝宗十句義論訣詁』／天保二五年刊 法雲講・稻溪・密雲記『十句義論闡記』

●『金七十論』とは、サンキヤ学派（古代インド哲学六学派の一）の根本教典『サンキヤ・カーリカ』の注釈書を、訳経僧真諦（例569）が漢訳したもの。ヨーガ学派の実践哲学に対して、理論哲学のありようを示す。大藏経中に収録されるインド哲学に関する文献としては『金七十論』とヴァイシニ学派の『勝宗十句義論』があるのみ。日本では、江戸時代後期に学僧による複数の注釈書が刊行されている。